



～地域とともにある学校をめざして～

鯨コミ

R4 CS通信No.9 R4.9.7



(コミュニティ・スクール通信) 文責 社会教育推進 DC 藤田昭彦

地域の方が指導するクラブ活動(舞戸小)・ふるさと学習成果発表会(鯨ヶ沢中2年生)

舞戸小学校では、DIY(日曜大工)、パソコン、中国語、ダンス、チャレンジ(理科実験)の5つのクラブで地域の方が指導しています。

パソコンクラブでは、相馬祐輔さんが指導に当たり、スクラッチを使ったプログラミングの学習を行っていました。相馬さんの指導により、複雑なプログラミングもできるようになりました。



中国語クラブでは、杉澤知恵さんが指導に当たり、中国語で一から十までの発音の練習をしていました。数の構成は、日本語と同じだそうで、一から十までの発音を覚えると、いろいろな数を言えるようになるところが面白いと思いました。

子どもたちにとっては、実際に中国語を発声しながらの学習となるので、楽しいひと時となっているようでした。



地域の方々が指導するクラブ活動は、それぞれの得意分野ということもあって、子どもたちは、専門的な指導を受けることができ、たいへん貴重な時間となっていることがわかりました。

9月1日(木)舞戸公民館で、鯨ヶ沢中学校第2学年のふるさと学習成果発表会がありました。

第2学年では、鯨ヶ沢町の歴史・文化について、町総括学芸員の中田書矢先生から指導を受け、各グループで調べたいテーマを設定しました。その後、実地調査を行い、地域の方々からお話を聞いてまとめました。今日は、その成果を発表する日です。

各グループのテーマは、「古くからの店」「鯨ヶ沢の祭り」「街並みの変化」「産業の変化」「港の変化」「白八幡宮の今と昔」「交通網と駅周辺の変化」等多様で、調べて為になるテーマが多いと感じました。また、どのグループもプレゼンソフトを使ってまとめているのですが、聞く側が飽きないようにクイズを取り入れて参加させたり、PR動画を作成したりして楽しい発表会となりました。

参加した地域の方々は、「みなさんは、鯨ヶ沢の宝です。町を支える人材として自信を持って頑張ってください。」「災害で大変な思いをしましたが、今日は、生徒のみなさんから元気をもらうことができました。」などと話していました。

また、生徒代表からは、「学んだことをこれからの学習に生かしていきたいと思います。災害に対しては、何かお手伝いがあれば、手伝ってきたいです。」という頼もしい発言がありました。



次号では、学校運営協議会委員による学校訪問(鯨ヶ沢中と西海小)の様子をお知らせします。